

指導者のセルフチェックシート

スポハラ(スポーツハラスメント)とは、スポーツ現場において「暴力」「暴言」「ハラスメント」「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。
 スポハラを根絶するためには、自分自身のスポハラに関する認識を再認識したり、児童生徒への指導の在り方を見直したりすることが重要です。行動を振り返ってみましょう。

※確認したらチェック欄に✓

No.	チェック項目	チェック欄
1	問題が起きたときに、頭ごなしに怒ることなく、児童生徒の言い分をじっくり聴いている。	
2	冷静に指導することを心がけ、児童生徒の心を傷つけないよう、言動には気を配っている。	
3	児童生徒が反抗的な態度をとることや指導に従わないことがあった場合等、児童生徒のせいだけではなく、自分の指導の在り方を振り返ることができる。	
4	児童生徒の問題を1人で抱え込むことなく、他の指導者や保護者等と連携して指導するようにしている。	
5	一部の児童生徒の問題に、団体のメンバー等に連帯責任をとらせたりする指導方法は、ふさわしくないと考えている。	
6	結果を出すことは大切だが、児童生徒の発達段階を踏まえ、活動の意義を含めて指導している。	
7	スポハラを行っている他の指導者を目撃したら、すぐに止めることができる。	
8	障害のある児童生徒への効果的な指導について、理解しようと心がけている。	
9	毅然とした態度で指導するのとスポハラは、別物だと思っている。	
10	画一的な指導ではなく、児童生徒の個々に応じた指導を心がけている。	
11	児童生徒の問題行動を指導者へのサインとして受け止め、誠意をもって対応している。	
12	児童生徒を集団の前で叱責することなく、時間を空けて指導するようにしている。	

令和 年 月 日

自署